

# 2021年度 地域の課題解決事業 成果報告会

主催：おおいた地域連携プラットフォーム

日時：2022年2月15日（火）  
13:00～17:00

会場：オンラインにて開催

本部 J:COMホルトホール大分  
大会議室

## プログラム

（司会） 大分大学 学生支援部教育支援課 課長 高橋 かおり

### 13:00 開会

（主催者挨拶） おおいた地域連携プラットフォーム 会長  
（大分大学 学長）

北野 正剛

（代理） おおいた地域連携プラットフォーム 事業推進本部 本部長  
（大分大学 理事、副学長）

藤井 弘也

## - 第1部 -

### 13:05 大分県と県内高等教育機関の連携による地域課題解決事業報告

\* 1チーム 発表15分、質疑応答など5分で進める予定です。

事業番号	事業名等	連携機関等
1	<b>大分らしい和牛肉生産流通戦略事業</b> 県産牛肉の簡易分析・測定等により、大分らしい和牛肉の特徴を探求し、「美味しさ」・「肉の高付加価値化」を目指した改良及びおおいた和牛の生産拡大を目指す。	大分大学理工学部 別府大学食物栄養科学部 大分県農林水産部畜産技術室 大分県産業科学技術センター
2	<b>カキ殻のリサイクル手法の確立</b> 産業廃棄物であるカキ殻のリサイクル手法について、コンクリートや培養土、生分解性容器の材料としての活用方法を確立する。	日本文理大学工学部 大分大学理工学部 大分県農林水産研究指導センター水産研究部
3	<b>外国人材の受入促進に向けた施策提案</b> 2045年までに大分県の在住外国人が現状の約1万3千人から10万人にするための施策を学生の視点で提案し、大分県の経済・社会活力の維持・発展を図る。	立命館アジア太平洋大学 大分大学 大分県企画振興部国際政策課

（休憩）

## 14 : 15 実践型地域活動事業報告

\* 1チーム 発表5分、質疑応答など3分で進める予定です。

事業番号	事業名	代表者	関連地域
4	看護学生による情報通信技術を活用した遠隔予防的家庭訪問実習～コロナ禍での長期自粛生活による高齢者のフレイル予防	大分県立看護科学大学 看護研究交流センター 助教 篠原 彩	大分市(富士見が丘団地、野津原地区)
5	亀川商店街再活性化計画策定事業	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 教授 須藤 智徳	別府市(亀川商店街)
6	きたく部2021拡張版	大分大学 教育学部 准教授 清水 良彦	大分市(穂田地区)
7	大分観光バーチャル体験プロジェクト2021	大分大学 理工学部 教授 古家 賢一	由布市
8	地域資源(ヤブツバキ)を活かした佐賀関地域の活性化	大分短期大学 園芸科 教授 吉野 賢一	大分市(佐賀関)
9	三重町市場通り活性化のための光環境改善ワークショップ	日本文理大学 工学部 助教 江越 充	豊後大野市(三重町)

(休憩)

事業番号	事業名	代表者	関連地域
10	舞子浜緑地リビング化プロジェクト#2	日本文理大学 工学部 准教授 木村 智	大分市 (舞子浜緑地一帯)
11	地方創生のための学生目線による地域企業リクルートビデオ制作プロジェクト	日本文理大学 工学部 教授 小島 康史	大分市
12	佐伯市の水産事業者との連携による新ビジネスモデル模索プロジェクト～学生目線による佐伯市水産業の魅力発掘・創出の実践～	日本文理大学 経営経済学部 教授 山内 勝義	佐伯市 (主として蒲江地区)
13	ひじ町フットパス新ルート「寺社めぐりコース」の開拓	別府大学 文学部 准教授 小嶋 紀博	日出町
14	野津原方言調査会と学生との学術的交流機会の創出～『野津原方言集』20巻の電子テキスト化と方言研究を通じて～	別府大学 文学部 教授 松田 美香	大分市(野津原)
15	新規発酵調味料「ととのみそ」の利用開発による地域の振興	別府大学短期大学部 食物栄養科 教授 岡本 昭	津久見市、佐伯市
16	IoTによる圃場データ収集とその活用	大分大学 理工学部 教授 大竹 哲史	臼杵市(野津町)

(休憩)

## - 第2部 -

### 16 : 20 事業の概要説明と中長期計画の進捗状況について

(説明) おおいた地域連携プラットフォーム 教育プログラム開発部会 部会長  
(日本文理大学 学長室長 工学部建築学科 教授) 吉村 充功

### 16 : 40 実践型地域活動事業 発表者表彰

(1位～3位)

### 16 : 50 閉会

(講評・閉会挨拶) おおいた地域連携プラットフォーム 地域交流・課題検討部会 部会長  
(大分県 企画振興部政策企画課 課長) 石井 聖治

### 17 : 00 終了